

ふかくさ町家シネマ

～地域で映像を探す、創る、一緒に見る～

活動の概要

地域の「コミュニティメディア」をテーマに活動している本学政策学部松浦さと子ゼミは、2014年より「ふしみ・ふかくさ コミュニティアークイブプロジェクト」を立ち上げ、地域の個人が所蔵する昭和のホームムービーを収集し、高齢者を中心に住民とともに観賞し、庶民の記録した地域の歴史を語り継ぐことを目的として活動しています。

龍谷大学深草町家キャンパスでの鑑賞会を「ふかくさ町家シネマ」と称し、映画館のない伏見の地域住民の方々と映像を通じてコミュニケーションを広げています。そして地域社会にお茶の間の団欒をつくり、テレビやPCを通じて映像を個人視聴することに慣れた学生たちが、広間で語りながら映像を見る楽しみを実感することができました。



昭和時代の貴重な映像を投影

活動の内容

深草学区を中心に京都南部の古い映像（主に昭和30～40年代の8ミリフィルム）に住民のみなさんに提供いただき、地域住民を招いて、上映会を開催しました。庶民の歴史をホームムービーを通じて共有することで世代を超えた人々の繋がりが芽生え、活性化に繋がるのではと考えます。

昭和30年代から40年代の映像では、高度成長が加速するなかで、子どもたちが地域に溢れ、道路を自家用車が埋め尽くし、デパートの屋上の観覧車が賑わい、祇園祭の河原町には商業看板が並んでいました。

あの時代はいい時代だったのかどうか、それはさておいて学生たちの知らない昭和は、学生たちにとって初めて見るものばかりでした。

94歳の女性が見せてくださったお正月の映像は、おせち、お屠蘇、年賀状、和装、初詣と典型的な日本のお正月の映像でした。しかし現在、その5つをすべて行う家庭はほとんどありません。

駅前の丸物百貨店や、天守閣に登れる伏見桃山城、松茸のどっさり採れる京都の山、高齢者の方々の知るまちは、学生にとって驚きの連続であり、つい先日まであったはずの景観は簡単に塗り替わってしまうものだとことを大人も思い知らされました。

音のないフィルムを見ることで会話ははずみ、お茶とお菓子で関係も親密になりました。地域住民のみなさんが異なる世代の学生に親しくいろいろなことを教えてくださることで、大学と地域社会のつながりが新たな活動展開に結びつくのではと期待しています。



上映会では多くの地域住民にお集まりいただきました

活動団体情報

代表者

松浦 さと子 (政策学部教授) 専門分野: コミュニティメディア

連絡先

研究室 075-645-8609
matsuura@policy.ryukoku.ac.jp

主な連携メンバー

特定非営利活動法人 記録と表現とメディアのための組織remo
映画監督 長岡野亜、(特) 京都コミュニティ放送

活動開始時期

2014年3月

主な活動地域

伏見区深草地区

これまでの成果

疎水で泳げた時代があったこと、みんながハワイに憧れながら海外旅行が珍しかった時代があったこと、お正月が特別な日だった時代、そうした日本の庶民の歴史を映像でたどることができました。学生は普段交流のない高齢者の方々と楽しく会話をすることができるようになり、率直に質問でき、たくさんのことを教えていただき、異世代交流が深まりました。とくに、ベトナム戦争時に脱走米兵を匿った方が撮影されていた19歳のアメリカ兵の映像は、47年前に日本の庶民の家庭にあった反戦運動を同世代の学生たちに想像させました。この映像によって、高齢者の方々と戦争について語り合うことができたことは大きな成果だったと思います。フィルム提供者の小山帥人さんを追いかけた毎日放送は、ドキュメンタリーにまとめ芸術祭に出品していただきました。

そのほかにも、学生運動時代の龍大、高度成長期の龍大など地域の方からのいろいろなお話で龍谷大学が地域のなかで愛されてきたことを実感できました。

今後の目標・課題

映像の保存は大学では行いません。この上映会のお話の記憶とDVD化した映像を、個々の家庭で「公共財」としてお預かりいただくことを最終目的としています。この活動は、やはり地域で持続させてゆくことが大切だと考えます。交流のある地域の市民活動に引き継いでいただけるよう、主旨を理解いただき、発展させていただこうと考えています。



8mmフィルムをDVD化しデータの劣化を防ぎます

受賞・助成採択実績

本取組は以下の支援制度に採択され、実施してまいりました。

- ・平成26年度 京都府地域力再生プロジェクト、伏見区区民活動支援事業
- ・平成26年度27年度 京都市・大学コンソーシアム京都「学まちコラボ事業」
- ・平成27年度 京都府地域力再生プロジェクト

他団体・グループとの連携について

連携可

連携先へのメッセージ: 学生たちの活動を地域で預かってくださる息の長い地域団体の方と交流したい。